

小松島市消防フェア 親子連れが楽しく防火・防災を学ぶ

市消防本部前駐車場で3月6日、「小松島市消防フェア」が開催され、大勢の親子連れが訪れました。

会場には、放水体験や消防車の乗車体験、煙体験、地震体験など数多くの体験コーナーが用意されたほか、炊き出し訓練コーナーでは試食会が行われるなど、来場者はイベントを通じて、防火・防災への意識を高めています。



消防車の乗車体験を楽しむ子どもたち



消防服を着て放水体験をする子ども

小松島市消防団OB会が発足

3月2日、市消防団を退団した者で構成する「小松島市消防団OB会」が41名の会員で発足しました。同会は、消防団を長年務めた会員の豊富な知識や技術、経験を若手の消防団員へ伝え、消防団活動を支援することを目的としています。

山林火災などを想定 消防団遠距離中継訓練を実施

3月13日、JAあいさい緑地（和田島緑地）の北側岸壁で「小松島市消防団遠距離中継訓練」が実施され、市内22箇所の消防団や3月2日に発足した市消防団OB会、市消防本部から総員約160名が参加しました。

同訓練は、水利から離れた山林火災などの現場を想定して行われたものです。消火栓から消防車の中継放水を1台ずつ計11台つなぎ、距離にして約300メートル先まで水利を確保しながら放水を行い、消防分団間、消防分団と消防団OB会相互の連携を深めていました。



中継放水訓練の様子

立江ふれあい花の会の地域活動 立江川沿いをシバザクラで彩る

立江川沿いのシバザクラが植栽されている周辺（ふれあいセンター立江の対岸）で3月20日、立江ふれあい花の会のメンバー約20名が草刈りやごみ拾いなどの清掃活動、シバザクラを植えるための防草シートの設置などを行いました。



防草シートの設置をする立江ふれあい花の会のメンバー

同会は地域住民による河川環境づくりを行うため、立江川沿いを花のじゅうたんで彩る計画を立てています。昨年3月からシバザクラの植栽活動に取り組み、現在では約1,000本の苗が植えられています。今後も毎月第3日曜日に継続的に活動し、シバザクラを広げていく予定です。

植栽されたシバザクラは、4月から5月初めにかけてピンクや白の美しい花が見頃を迎える予定です。



立江川沿いに植栽されたシバザクラ